

ごけん

平成 28 年

春

号

日本語検定 実施予定

平成 28 年度第 1 回 (通算第 19 回)

[一般会場] **6月18日(土)**

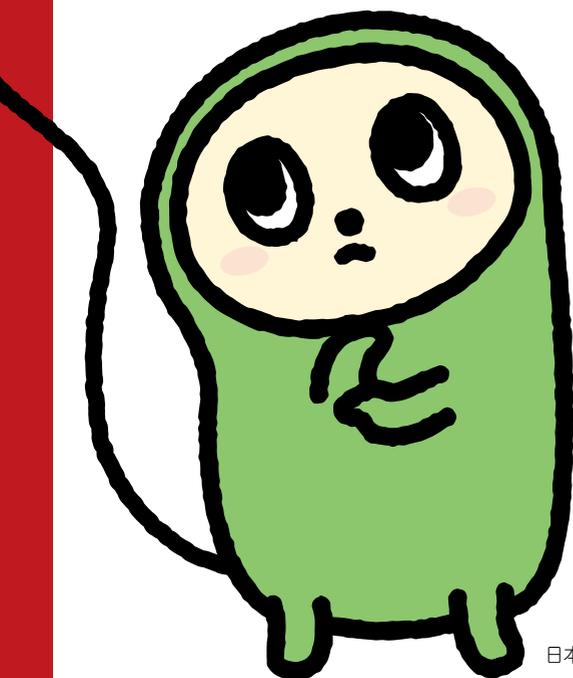
[準会場] **6月17日(金)・18日(土)**

[申込期間] **3月1日(火)～5月20日(金)**

後 援：文部科学省／日本商工会議所
経団連事業サービス／全国連合小学校長会
全日本中学校長会／全国高等学校長協会
全国工業高等学校長協会／全国商業高等学校長協会
全国高等学校国語教育研究連合会
日本 PTA 全国協議会
全国高等学校 PTA 連合会
日本青少年育成協会 他

特別協賛：読売新聞社

協 賛：時事通信社／東京書籍



日本語検定公式キャラクター「にほんごん」

もくじ

ごけんメッセージ 松田陽三	2
ごけん情報板	4
採点室から	5
表彰受賞者の声	6
第7回日本語大賞 表彰式	7
受検団体の声	8
にほんごん にほんご劇場	10
受検案内／プレゼント・クイズ	12

特定非営利活動法人

日本語検定委員会

「正しい日本語」が問われる時代

変化する日本語

「あけおめ!」「ことよろ」

新年を寿ぐお祝いの言葉も、若い人のメールやSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の会話の中では、ずいぶんと軽やかだ。初めて見聞きした時は違和感があったが、慣れてくると、弾むような元気の良さが感じられて、悪くない。

昨今よく「活字離れ」と言われるが、本当だろうか。

文筆家でもインテリでもない市井の人々が毎日これほど多くのメールをうち、SNSで連絡を取り合い、ブログを綴る時代はかつて無かったと思う。ネット上で垣間見る文章が、これがまた達者で面白い。「アマゾン」の本のレビュー欄や「食べログ」の飲食店の口コミ欄などにも、言い得て妙なコメントが並んでいる。新しい日本語の使い手が続々と誕生しているようだ。

先日、ニュージーランド人から届いたメールの最後に、絵文字が記されていた。初めて見る絵文字だったが、お詫びの気持ちを表していることは理解できた。日本の携帯メールから生まれた「Emoji」は今や世界中に広がり、各国の文化に応じて独自進化を遂げつつある。

近年、インターネットやモバイル端末

の発展とともに、日本語が急速に変化している気がする。コミュニケーションに使われる伝達手段が変われば、伝える中身や語法も変わってくる。音声だけのラジオと画像が中心のテレビでは、アナウンサーの言葉遣いや話すリズムも違ってくる。

「最近、若い編集者が書く文章が細切れになった。」ある雑誌の編集長から嘆き節を聞かされたことがある。一つ一つの文章が短く、句読点が多いため、ボツボツと途切れて読みにくいと言う。筆を手に取り、ゆっくりと手紙をしたためる代わりに、SNSで瞬時に短文をやり取りする生活習慣が、文体に影響を及ぼしている可能性がある。

物心ついた頃からネットやモバイルが身近にあったデジタル・ネイティブの若者の言葉遣いや語法はおのずから旧人類とは違ってくる。日々新しい日本語が生まれている今の状況は、ひょっとすると、明治の文明開化にも匹敵するのではないだろうか。

国際化と日本語

伝統的な文語に慣れていた当時の人々にとって、言文一致、話し言葉に近い口語体で書かれた二葉亭四迷の小説「浮雲」は、まさに「びっくりぼん」だったに相

違ない。

西洋の文化や思想を日本に紹介した福沢諭吉らは、「自由」「個人」「社会」「科学」「演説」「哲学」「会社」などの訳語を苦心惨憺して編み出した。

文豪の夏目漱石も流行語や当て字を小説に多用し、授業では「牛耳」や「野次」を動詞にして「牛耳る」「野次る」などと話していたそうだ。世の謹厳居士は言葉の乱れに眉をひそめていたはずだ。

さらに、訪日外国人や留学生、日本で働く外国人の増加も日本語に変化をもたらすだろう。東日本大震災の時、緊急避難を呼びかける警告の言葉を外国人が理解できないことが問題になり、言い換えが検討されている。介護の現場で外国人が働くことが当たり前になれば、「臥位」（がい＝寝た状態）、「腋窩」（えきか＝わきの下）、「清拭」（せいしき＝体をタオルなどで拭くこと）など、日本人でも意味が分かりにくい用語も別の言葉に取って代われよう。

座標軸としての日本語検定

新しい日本語が続々と生まれている昨今は、逆説的だが、だからこそ正しい日本語とは何か問われている。カッコイ



イ斬新な表現、個性あふれる文章は、万人皆が使う言葉や文章とは一味違った著者独自のものだ。しかし、余りにも基準からかけ離れた突拍子もない言葉遣いや文章では、読み手に思いが伝わらない。基準となる日本語と付かず離れず微妙な距離感を保つことが大切だ。

日本語検定は、自分が使う言葉、知っている表現が、豊かで奥行き深い日本語の世界のどのあたりに位置しているかを確認する座標軸になる。デジタル世代の皆さんにこそ是非、日本語検定に挑戦していただき、言葉遣いに磨きをかけてもらいたい。

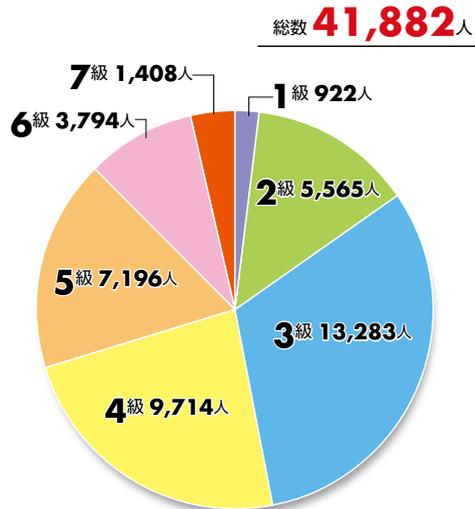
松田 陽三（まつだ ようそう）

1958年愛知県生まれ。早稲田大学卒。1982年に読売新聞東京本社に編集記者として入社。経済部で財務省、日銀、金融、流通、貿易の各業界などを担当。ロンドン特派員、編集委員、編集局総務を経て、2014年から取締役広告局長。日本語検定委員会理事。著書に『学習図説小学校社会科全集〈14〉日本の流通とサービス』（国土社）など。

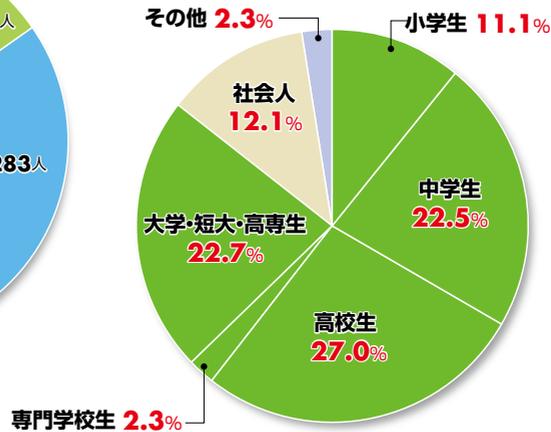
昨年11月に実施いたしました、平成27年度第2回(通算第18回)日本語検定について、各級の受検者数などのデータをご紹介します。

◎平成27年度第2回(通算第18回)日本語検定

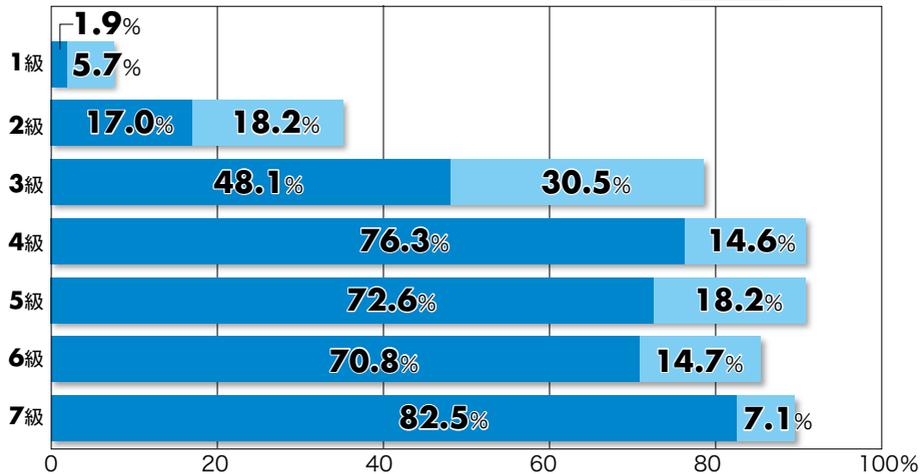
■受検者総数と級別受検者数



■受検者の属性別割合



■各級の認定率



27年度第2回の問題より

2～4級で正答率が低かった問題をいくつかご紹介します。

○2級より

() に入る言葉として最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

一 このような名譽ある会の末席を() ことになり、たいへん光榮です。

[1 通す 2 濁す 3 汚す 4 晒す] (答え: 3—正答率 13.9%)

★「汚す」と結び付いた、「末席を汚す」が適切です。「末席を汚す」は、会合に出席したり、ある集団に加わったりすることを謙そんするという言い方です。この問題では、半数近くの人が、「通す」を選んでいました。

二 失業してからは定まった収入もなく、辛くも糊口を() いるありさまだ。

[1 塞いで 2 凌いで 3 繋いで 4 紡いで] (答え: 2—正答率 26.8%)

★「凌いで」と結び付いた、「糊口を凌いで」が適切です。「糊口を凌ぐ」は、ひどく貧乏で、その日その日をやっと暮らしていることという意味です。「塞いで」「繋いで」を選んだ人の割合は、それぞれ正答を選んだ人とはほぼ同じでした。

○3級より

次の会話文の() に当てはまる言葉を選んで、番号で答えてください。

【平山】 最近、伊藤君に話しかけても、いつも木で(ア) をくくったような態度を示されちゃうんだ。この前までは彼とは妙に(イ)、何でも話せる仲だったのに。

【川西】 伊藤君がなぜそういう態度をとるのか、思い当たる節はないのかな。

…… (以下略) ……

ア …… 1 腹 2 皮 3 鼻
イ …… 1 帳尻が合って 2 馬が合って 3 辻褄が合って

(答え: ア…3—正答率 31.4% オ…2—正答率 79.1%)

★ア 受け答えがひどく無愛想でそっけないことをいう、「木で鼻をくくる」を用いた、3が適切です。「腹をくくる」を選んだ人が、全体の半数以上に達していました。

イ 気がよく合うことをいう、「馬が合って」が適切です。「帳尻が合う」は、収入と支出とが合致すること。「辻褄が合う」は、前後がきちんと合って矛盾がないことです。

○4級より

次の文には、パソコンで入力したときの変換ミスがあります。誤っている表記を含む言葉の正しい書き方を、楷書で記入してください。

(例: 雨で中断していた試合が再会された。 解答 ●再開)

一 年金などの社会保証制度を根本から見直すべきだということは、多くの国民の共通認識となっている。

(答え: (社会) 保障 (制度) —正答率 33.8%)

★人々の権利や生活などが守られるように手段を講じることをいう、「保障」が正しい書き表し方です。

ふだんはあまり使わない慣用句だけではなく、新聞やテレビ、教科書などでも目にする言葉でも、実際に読み書きするとなると、正確にできないものも案外多いものです。意味や漢字を知らずに何気なく使っている言葉を、国語辞典で引いてみると意外な発見があるかもしれません。

表彰受賞者の声

平成 27 年度第 2 回日本語検定で団体表彰・個人表彰のダブル受賞となった、
関西大学初等部から、喜びの声をいただきました。

●団体受賞校の声●

文部科学大臣賞

関西大学初等部教務主任
今宮信吾先生



この度は、文部科学大臣賞という名誉ある賞を頂戴し、感謝申し上げます。本校は開校してから6年目の新しい学校です。同じ敷地の中に小学校から大学院まであり、初等部から高等部まで12年間の一貫教育を展開しております。

日本語検定を実施するようになったのは、少しでも美しく、そして正しいことばに親しんでほしいという願いと、思考力育成に取り組む学校としてことばの力がその基礎になると考えたからです。現在は、初等部5・6年生で合計4回の受検機会を設定しています。過去の問題や『日本語ドリル』、『日本語を学ぼう』を参考に、学校での指導を行った後に受検させています。5年生で6級から受検し、初等部卒業までに全員が5級合格を目標としています。

今後も、本校の児童・生徒が美しい日本語の使い手になることを目指して、積極的に日本語検定に取り組んでまいります。

●個人受賞者の声●

読売新聞社賞 5級 最優秀賞



関西大学初等部 5年
藤田 律さん

今回は素晴らしい賞をいただくことができ、大変うれしく思います。この検定を受けて、普段おろそかにしている敬語の大切さを改めて実感しました。「らぬき言葉」が目立つ中でも、正しい日本語を使っていきたいです。



関西大学初等部 5年
西山将都さん

学校の先生から受賞の知らせを聞いてすごくうれしい気持ちになりました。正しい敬語を意識していませんでしたが、これからは日常話す日本語を相手や場面によって使い分け、次の級もがんばります。

第7回日本語大賞 表彰式

テーマ：「私が使いたい言葉」

去る2月28日、第7回「日本語大賞」（主催：日本語検定委員会）の表彰式が、東京都北区の東書ホール（東京書籍本社）で行われ、文部科学大臣賞受賞者4人が表彰されました。

計1,545点の応募の中から、第一次、第二次、最終審査に亘る厳正な審査の結果、4部門それぞれで、文部科学大臣賞、優秀賞、佳作が選ばれました。



文部科学大臣賞

- 小学生の部 **野崎 竜聖さん** 「『おかえり』が教えてくれた気持ち」
メキシコ アグアスカリエンテス日本人学校 小学部4年
- 中学生の部 **吉田 菜々穂さん** 「よか言葉」
大阪教育大学附属池田中学校2年
- 高校生の部 **多田 悠歩さん** 「虹色の言葉」
和光高等学校2年
- 一般の部 **伊藤 喜治さん** 「田んぼはおしゃれさん」

表彰式は、審査委員でフリーアナウンサーの梶原しげるさんの司会で進行了しました。主催者代表の梶田叡一理事長の挨拶、審査員代表の大池公紀さんの全体講評に引き続き、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課の助川 隆 民間教育事業振興室長より、文部科学大臣賞が授与されました。

*文部科学大臣賞と優秀賞の作品は、日本語検定公式ホームページでご覧いただけます。

日本語検定を通して「生きる力」を育む

盛岡市立青山小学校
校長 山本 繁先生



本校は平成 21 年度に準会場となってから、年間 2 回の日本語検定を継続して受検してきました。受検する子どもの数は毎回増え続け、昨年の秋の検定では教室がいっぱいになるほどになりました。増えたのは人数だけではありません。「先生、今度〇級を受けるので問題集を貸してください。」そう言って何週間も前から練習問題に取り組む子どもも増えました。さらに上の級を、または、前回は準認定だったから次は認定を目指して、自ら進んで学ぼうとする子どもたち。これは、本校の学校教育目標の一つに掲げている「よく考える子ども」の表れであり、団体表彰をいただくに相応しい姿であると感じています。

子どもたちの目や耳には、さまざまなメディアを通じて絶え間なく情報・言語が音声や文字となって入り込んでいます。それは、正しく美しい日本語を身につけるのにとっても困難な状況であると言わざるを得ません。他者や社会と関わる上でとても重要な力の一つである言語力。学校は、国語科の授業や各教科での言語活動の充実を通して、子どもの言語力やコミュニケーション能力を高めています。日本語検定もそれらの力を高める一助となっていることは間違いありません。「正しく美しい日本語の使い手」を目指すことは、子どもたちの生きる力を育むことにつながると信じて、これからも日本語検定を活用していきたいと考えています。

コミュニケーション能力を高めるために

羅臼町教育委員会

羅臼町は、北海道の知床半島にある知床国立公園を抱える人口約 5,500 人の小さな町です。子どもたちは、毎日北方領土である国後島を教室の窓から眺めながら伸び伸びと勉学に励んでいます。「知床」は 10 年前にユネスコの世界自然遺産に登録され、羅臼町では幼稚園から高校まで「ユネスコスクール」に加盟しています。各園・学校では、「知床学」を題材として「ふるさと教育」に取り組んでいます。

未来の町を支える人材育成と、町の自然・産業・観光資源の有効な活用のためには、積極的にコミュニケーションを図る能力が重要であると改めて感じているところです。

これまで、日本語の 6 領域について総合的な力を測る「日本語検定」は受検する機会がありませんでした。

この度、協賛団体からのお誘いを受け、根室振興局管内で初めて団体受検をしました。



今回、中学生から高齢者までの 16 名が受検し、認定・準認定合格が 75% という結果にホッとしているところです。「日本語検定」の受検をきっかけにして、母語である日本語の大切さに気づき、社会に出て恥ずかしくない日本語力をしっかり身につけて欲しいと願っています。次回は、小学生の受検も期待して、工夫をこらした分かりやすい案内に取り組んでいきたいと思っています。

葛飾ろう学校における日本語検定への取り組み

東京都葛飾ろう学校 高等部教諭
佐野 彰則先生



本校は、幼稚園から高等部専攻科までの、聴覚に障がいのある幼児・児童・生徒が 200 名近く在籍している全国でも有数規模のろう学校です。

本校の生徒の多くは、手話を主なコミュニケーション手段として日本語を学んでいます。生徒同士は、お互い手話が使えるので不自由はありませんが、社会に出ると手話が通じない会社がほとんどで、筆談力など日本語の力は、どこでもすぐに求められます。

一般に「聴覚障がい」と聞くと、言葉の聞き取りや発語が苦手なだけというイメージがあ

るかもしれませんが、実は言語獲得期に耳から自然に日本語が入ってこないため、正確な日本語を使うことが苦手の生徒が少なくありません。

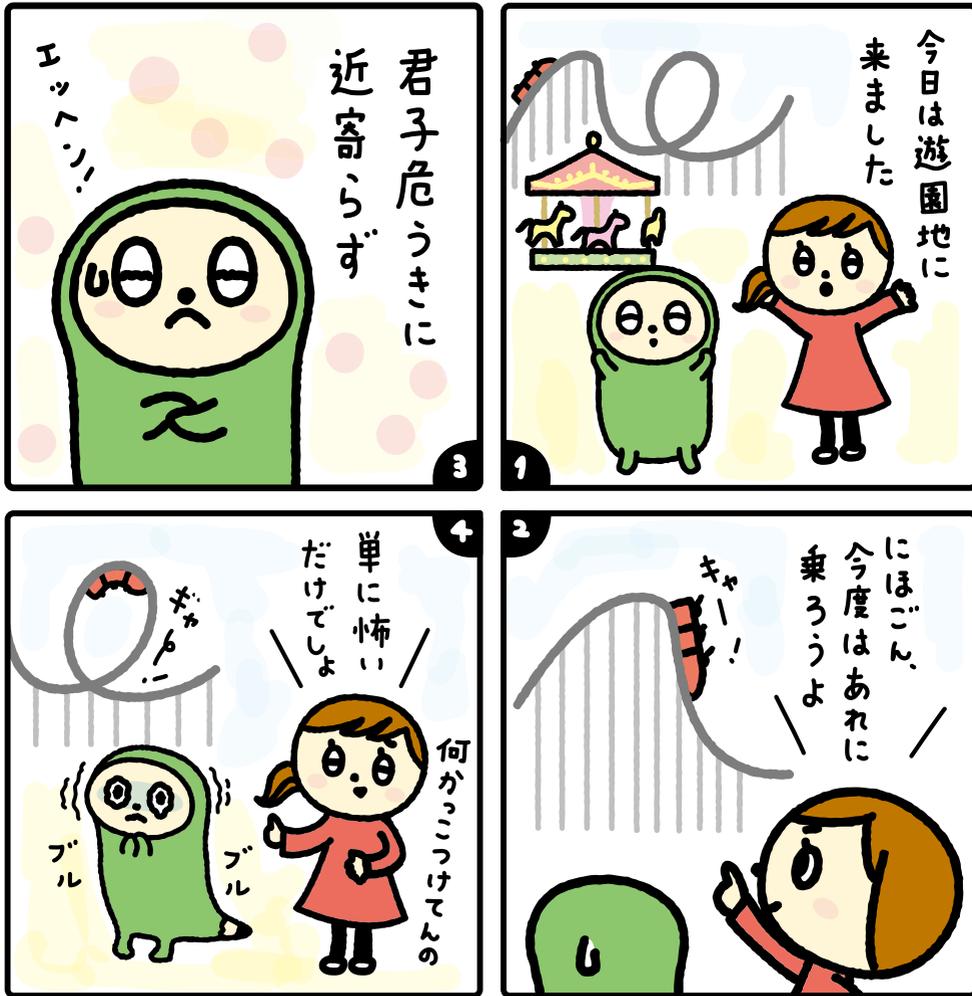
それを補うために、ろう学校では日本語力の向上を大きな課題と捉え、授業や生活全般での言語指導や読書活動等に積極的に取り組んでいます。さらに平成 24 年度からは、総合的な日本語力を確認できる客観的な指標として、日本語検定を取り入れました。

日本語検定では、漢字の読み書きだけでなく、語彙や敬語、文法、言葉の意味、表記などがまんべんなく出題され、受検結果も分野毎に記載されるため、聴覚に障がいのある生徒が自分の弱点を確認する手段として大変役立っており、また日本語学習のモチベーション向上にもつながっています。本校では、今後も日本語検定を通して、聴覚障がいのある児童・生徒の日本語力の育成を図っていきたいと考えています。

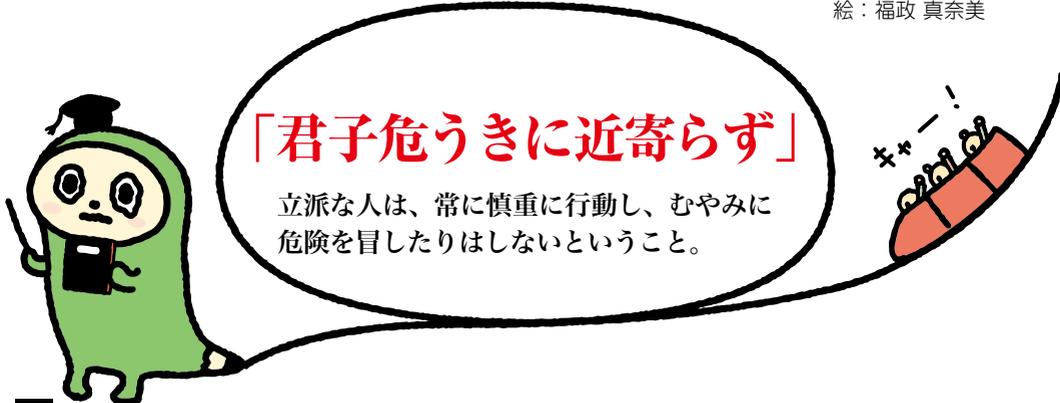


東京都葛飾ろう学校
Tokyo Metropolitan Katsushika School for the Deaf

にほんこ にほんこ劇場



絵：福政 真奈美



時事通信社の専門情報誌

60 年余にわたる
実績と信頼

内外教育 厚生福祉
地方行政 税務経理
金融財政Business

週2回お手元にお届けします

- 内外の一流執筆陣、第一線記者らの的確な解説と迅速な情報
- 実務家のためのノウハウ、実例を満載、資料・データも豊富

時事通信社 104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 104-8178 東京都中央区銀座5-15-8
www.jiji.com お問い合わせは 業務局 事業部 jigyokikaku@grp.jiji.co.jp

教育における能力と可能性を導く最前基地となることを目指して
さまざまなシーンをサポートしてまいります!

学力調査 特別支援教育 教育シンポジウム 教育機関誌
意識調査 体力テスト 授業評価 教員研修 学校評価

エデュフロント 企画・制作・コンピュータ処理・運用 本社 〒114-0004 東京都北区堀船 2-17-1
TEL: 03-5390-7568 Fax: 03-5390-7583
http://www.edufront.co.jp/

教育の印刷・信頼の技術
株式会社 リーブルテック

教科書印刷で培った
知識と技術を未来へ伝える

本社：〒114-0004 東京都北区堀船1-28-1 tel: 03-3927-6411(代)
工場：〒347-0004 埼玉県加須市古川2-3-1 tel: 0480-68-4761
http://www.livrettech.co.jp/

平成28年度
第1回
日本語検定
受検案内

[一般会場] 6月18日(土)
[準会場] 6月17日(金)・18日(土)
[申込期間] 3月1日(火)～5月20日(金)
[実施都市] 全国の約100都市で実施予定

[受検級の目安と受検料] ※受検料は税込価格です。

受検級	各級のレベル	受検料	受検時間	受検の目安						
				社会人	大学生	高校生	中学生	小学校 高学年	小学校 中学年	小学校 低学年
1級	社会人上級レベル	6,000円	60分							
2級	大学卒業レベル～ 社会人中級レベル	5,000円								
3級	高校卒業レベル～ 社会人基礎レベル	3,500円								
4級	中学校卒業レベル	2,000円	50分							
5級	小学校卒業レベル	1,500円								
6級	小学校4年生レベル	1,500円								
7級	小学校2年生レベル	1,400円								

公式ホームページ <http://www.nihongokentei.jp>

プレゼント・クイズ

問題:「にほんご にほんご劇場」で取り上げたことわざは何でしょうか。
○の部分を持って完成させてください。

「○○危うきに近寄らず」

抽選で5名様に、オリジナル『にほんごクリアファイル』『にほんごメモ』セットをプレゼントいたします。はがきに、クイズの答えと、お名前、性別、年齢、ご住所、ご連絡先(お電話番号またはメールアドレス)を明記のうえ、日本語検定委員会までお送りください。平成28年7月1日の消印まで有効です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

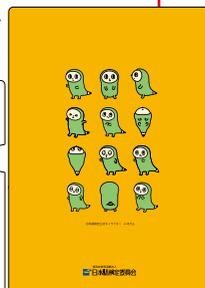
(応募の際の個人情報は、本プレゼント以外では使用しません。)

特定非営利活動法人
日本語検定委員会

〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1

【お問い合わせ先】0120-55-2858

<http://www.nihongokentei.jp>



ごけん 平成28年春号 (No.19)